

M E I J O U N I V E R S I T Y r e p o r t

名城大学通信

2010.08
No.40

名城大学Day 9月開催!

名城大学×読売新聞 エコキャンパスプログラム
いきものシンポジウム
「里山と自然、人とのつながり」

名城大学ECO NEWS

平成21年度に表彰・入賞された方々

「輝く卒業生」市川さつきさん

平成21年度 事業報告・財務報告

平成21年度 就職状況報告

写真/5月20日夕方、雨上がりの東の空に虹がかかりました。

01-02
第7回 名城大学Dayの
お知らせ

03-04
名城大学ECO NEWS

05-06
平成21年度に
表彰・入賞された方々

07-08
輝く卒業生
株式会社くじらボ 代表取締役
市川 さつきさん

09-12
平成21年度 事業報告

13-14
平成21年度 財務報告

15
CAMPUS NEWS
・女子駅伝部2人が世界大学クロス
カントリー選手権大会出場
・第1グラウンドが人工芝化
・硬式野球部が1部復帰決定
・愛知銀行と産学連携推進で包括協定

16-18
平成21年度
就職状況報告

19-20
INFORMATION

21-22
EVENT GUIDE

第
7
回

名城大学 Day

教育ときずな

2010
9/18
[Sat]

am10:00
~pm4:00
[入場/am9:30~pm3:00]

※予備日19日(日)その場合、
一部のイベントは中止になります。

名城大学 天白キャンパス **入場無料**

地下鉄鶴舞線「塩釜口／名城大学前」駅下車徒歩8分 ※駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

特別企画

1



エコキャンパスプログラム いきものシンポジウム

里山と自然、人とのつながり

第1部 エコトーク 第2部 トークセッション

← 詳しくは3ページへ

【知る・学ぶ】

公開講座

- 自分でできる「起業」手続き【法学部】
- “Change”はあれからどうなった? ~オバマ政権2年間の評価と2010年アメリカ中間選挙~【法学部】
- 世界中で販売されているビッグマックから見た外国為替相場 ~為替相場はどう決まる?~【経営学部】
- アメリカ合衆国オバマ政権における公共事業と産業育成【経済学部】
- 家族のきずな:「継承」という視点から考える【人間学部】
- 親子で楽しめる天白街並み環境講座【都市情報学部】
- 省エネカーの開発と技術の育成【理工学部】
- 学生がつくるレーシングカー ~全日本フォーミュラ大会を目指す学生たち~【理工学部】
- 人類の未来は農学から~農学が生命・食料・脱石油社会そして環境の課題を解決する~【農学部】
- アナウンサーが教える好感度アップ!の話方【キャリアセンター】
- 親子算数教室【教職センター】
- 陰陽道の世界【アジア研究所】

進学情報コーナー

進学相談コーナー、保護者進学説明会、30分でわかる名城大学入試、小論文対策講座【入学センター】

【体験する・考える】

- 実験講座** (人数限定。小学生は保護者の同伴が必要な場合があります)
- リンゴで変形した幼苗 ~その謎を探ってみよう~【農学部】(高校生~中学生向き)
- くすりってどうやってきくの?実験してみよう!【薬学部】(小学生対象)
- 総合数理実験・ゲーム:遊びから学ぶ理科・算数(数学)「光の不思議 ~いつも見ている光の謎~」【総合数理教育センター】(中学生~小学生向き)



名城大学Dayに
オープンキャンパスがドッキング!

特別企画

2

創作童話朗読会

夢中人³

【けいさんとりゅうさん(おじん) withみずき】
(童話作家 鬼頭 隆氏(本学卒業生)、片岡 恵子氏、鬼頭 瑞希氏)

「新・桜の下で月の下で」
「柿の木のお話」
「ミニひなたぼっこコンサート」

【見る・楽しむ】

大学・附属高校のクラブ等紹介

- 大学クラブ紹介
 - 自作ゲーム等の情報技術発表【情報技術研究会】
 - 手作り体験教室【造芸部】
 - 子どもと一緒に工作しよう、伝承玩具で遊ぼう【児童文化研究会“かざぐるま”】
 - ロボット展示【ロボット倶楽部】
 - 車両展示【エコノパワークラブ、自動車技術研究会】
 - 作品展示【美術部】
 - 落語・漫才・コント【落語研究会】
 - 体育会演武会【合気道部、居合道部、応援團リーダー部、応援団吹奏楽部】
 - ミニコンサート【うたごえサークル“べんべん草”】
 - ストリートダンス【ストリートダンスサークル】
- 附属高校クラブ等紹介
 - 科学を体験しよう【自然科学部】
 - 活動報告・紹介、ミニコンサート【総合学科人間コミュニケーション系列】
- 大学・附属高校合同企画
 - チアリーディング部合同演技、茶(華)道部合同茶会



その他の
主な催し

【知る・学ぶ】

- 無料法律相談コーナー【事前申込制:法務研究科】
- 附属図書館の開放
- 国際交流コーナー(「留学生による中国語講座・韓国語講座」「母国文化紹介」「開発教育・国際理解教育資料、民族衣装展示」)【国際交流センター】
- 非常食試食【天白区女性会・ボランティア協議会合同】
- 起震車体験【名古屋市消防局協力】
- AED救命講習会【保健センター】
- ボランティア協議会活動報告会
- 健康バオ&食生活栄養相談会【名城大学生生活協同組合】

【協賛企業等紹介コーナー】

【見る・楽しむ】

- お絵かきバス(小学生以下対象)【名古屋市交通局・鉄道研究会協力】
- バトカー・白バイ展示等【愛知県天白警察署】
- ペロタクシーを体験してみよう!【NPO法人HOMIES協力】
- 5年後の自分に手紙を出そう!【名古屋名城大学内郵便局】
- えいごdeビンゴ、えいごdeかみしばい&パペットショー【大学教育開発センター】
- Meijo Rare Books Gallery ~貴重本展示中~、自分だけのオリジナルブックカバーを作ろう!【附属図書館】
- ようこそ!卒業生コーナー

【買う・食す】

- 校友会全国物産展、附属農場農産物即売会
- フリーマーケット【天白区社会福祉協議会、ボランティア協議会】
- 地産地消を推進!抹茶スイーツ販売~【附属高校総合学科ビジネスコミュニケーション系列】
- 名城大学グッズ販売コーナー【(有)名城大学サービス】

※イベントは予告なく変更になることがあります。予めご了承ください。

巣箱の設置を行う子どもたち



コナラやクリなどの苗木を植樹

第5回 親子里山自然教室

10月に名古屋市で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)のパートナーシップ事業として名城大学と読売新聞社が展開している「エコキャンパスプログラム」の第5回「親子里山自然教室」が好天に恵まれた5月15日、岐阜県可児市の「我田の森」で可児キャンパスで行われました。

昨年5月から始まった同教室は今回が最終回。親子7組14人の参加者たちは出迎えた下山宏学長から歓迎のあいさつを受けた後、さっそく「里山クラブ可児」(松下義人代表と、里山づくりに取り組んでいる都市情報学部小池聡教授やゼミ生たちの手助けを受けながら、ノコギリなどを使い、直

径約10センチ、高さ10メートル以上の木を切

り倒す間伐作業を体験しました。作業を終えた親子たちは里山クラブ可児の皆さんが用意したもち米でもちつきに挑戦。新緑の森に歓声が上がりました。参加者たちは間伐した森に、自らが組み立てた巣箱の設置を行った後、可児キャンパスに移動。「ミニゼミナール」で、小池教授から間伐の狙いについて、「うっそうと生い茂る森の木を伐採することで光が差し込み、草花や昆虫など多様な生物がすみ里山に変わります」と講義を受けました。その後、親子14人が、間伐された里山に植えることを想定し、コナラやクリなど14種類の苗木を可児キャンパス内に植樹しました。

環境省、国土交通省および林野庁では、平成22年3月～5月までの期間を「グリーンウェイブ2010」として、全国の青少年などが、植樹や植樹した樹木への水やりを行う活動の展開を呼びかけており、今回の植樹体験もその一環として行われました。



間伐作業体験の様子

ムツゴロウさんが「環境7大学集中公開講座」で講演

朝日新聞とメー

テレが愛知県内の7大学で開催している「環境7大学集中公開講座」で、本学では7月3日、作家のムツゴロウこと畑正憲さんを講師に迎えての講座が開かれました。畑さんは「命の輪、連なり重なって」をテーマに約1時間半にわたって講演を行いました。会場となった天白キャンパスの名城ホールは満席となり、600人が畑さんの軽妙な話に耳を傾けました。



講演に先立ち、下山宏学長が、環境問題は本学の教育と研究を支える柱の一つであり、タワー75の建設などキャンパスの再開発でも環境に配慮している点を紹介しました。

畑さんは、自身が住む北海道の自然環境もスズメやハチの姿が目に見えて減るなど急激に環境変化が起こっていることなどを指摘。さらに、ブラジルや南アフリカなど、畑さんが訪れた世界の国々で、生物が相互依存的に

生息している例を紹介し、生物多様性の大切さを訴えました。そして、「温暖化が進み、虫や動物が通常よりも早く冬眠から目覚めても、食べるものがなく息絶えてしまう。エサとなる植物が開花するには、気温と日照時間の2つの条件が揃う必要があるからだ」と季節のズレが生じていることの危機感を語りました。

岐阜県中津川市から娘さんと訪れたというファンの男性は、講演を聞いて、「ムツゴロウさんのテレビは親子ですと見ていました。今日は握手もしていただき、最良の一日です。また、娘さんは「本当にいろんなことを知っているなと感心しました。行動力があつての知識量なのでしょう」と話していました。

COP10を前に、講座の参加者にとっては、改めて環境問題について考える充実した一日となりました。

名城大学×読売新聞 ECO CAMPUS PROGRAM エコキャンパスプログラム

いきものシンポジウム 「里山と自然、人とのつながり」

時間 / 10:00~12:30
会場 / 共通講義棟北1階 名城ホール 他

※メイン会場(名城ホール)へは先着順となります(整理券配布)。※名城ホールへの途中入場はできません。

第1部:エコトーク~エコキャンパスプログラムを振り返って~

COP10パートナーシップ事業として5回にわたって実施してきた「エコキャンパスプログラム~親子里山自然教室~」。下山宏学長と人間学部水尾衣里教授が、プログラムを振り返り、里山保全の意義、名城大学の環境に関する取り組みを語り合います。

第2部:トークセッション

パネリスト

写真家 浅井 慎平 氏、名古屋市東山植物園参与 岡島 徳岳 氏、名城大学都市情報学部 小池 聡 教授

コーディネーター

フリーアナウンサー 草野 満代 氏

10月に名古屋市で開催されるCOP10に向けて、環境意識を高め自然の大切さを伝えるという趣旨で開催してきたエコキャンパスプログラムの集大成として、多彩なゲストをお招きし、生物多様性を考えながら、身近な自然である里山の重要性を伝えます。



ゲストパネリスト 浅井 慎平 氏

1937年愛知県瀬戸市生まれ。早稲田大学政治経済学部中退。在学中、映画研究会に所属する。学園祭のパンフレットのカバーのために写真を撮ったことで、写真の面白さに気づきその道に進む。1965年日本広告写真家協会賞受賞後「ビートルズ東京」でデビュー。以後数々の賞を受賞する。写真表現の他に、文芸、音楽、映画、工芸など、さまざまな分野でも活躍している。地球環境問題に強い関心を持ち、主として水辺や歴史的視野からの風景などを撮影し、シンポジウム、テレビにも積極的に参加し、時代に新しい風を送っている。



とくたけ
ゲストパネリスト 岡島 徳岳 氏

1948年名古屋市生まれ。静岡大学農学部卒業。名古屋市農産課を経て東山動物園主査。東山動物園では、全国に先駆けコアラ飼料のユーカリ栽培を担当。東山植物園では、園内自然植生に特徴的なツツジ類、湿地環境に依存する東海地方の固有植物の保全を進めた。名古屋市ランの館初代館長、同市東山動物園園長、日本植物園協会会長を歴任。現在、名古屋市東山植物園参与。



コーディネーター 草野 満代 氏

1967年岐阜県中津川市生まれ。津田塾大学文芸学部卒業。1989年NHK入局。サンデースポーツ等のキャスターとして活躍し、1996年アトランタオリンピック現地キャスター。紅白歌合戦の総合司会を務めた後、退局。1997年から2006年までTBS「筑紫哲也NEWS23」のキャスターを務めた。現在、雑誌、新聞等でも幅広く活躍中。環境省「地球いきもの応援団」メンバー。



理工学研究科電気電子工学専攻
清水敦之・村本裕二研究室
奥村 賢直さん(博士前期課程1年)
【国際電気電子学会誘電電気絶縁部会 (IEEE DEIS) 日本支部「2009 IEEE DEIS Japan Chapter Student Best Paper Presentation Award in International Conference」】



理工学研究科情報工学専攻
吉川雅弥研究室
成瀬 郷さん(修士課程1年)
【日本知能情報フジイ学会第20回ソフトウェア・ワークショップでベストプレゼンテーション賞】



理工学研究科情報工学専攻
山田宗男・山本新研究室
鈴木 勇太郎さん(修士課程2年)
【自動車技術会2009年度大学院研究奨励賞】



理工学部情報工学科
中野倫明研究室
加藤 千恵さん(4年)
【社団法人電子情報通信学会東海支部開催の平成21年度卒業研究発表会口頭発表部門で優秀卒業研究発表賞】



理工学研究科建設システム工学専攻
小高猛司研究室
寺本 優子さん(修士課程2年)・
中島 康介さん(同)・
平手 寿大さん(修士課程1年)・
牧田 祐輝さん(同)
【第54回地盤工学シンポジウム(地盤工学会創立60周年記念シンポジウム)で優秀論文賞】



法務研究科
松橋 昭範さん(3年)
【愛知県弁護士会法科大学院特別委員会主催、模擬裁判法科大学院対抗戦で技能賞】



平成21年度に表彰・入賞された方々

学外から表彰・入賞された学生、教員等を紹介します!

※所属、学年、職名は受賞時のものです。
※名城大学通信の既掲載分を除きます。
※本学関係者以外との共同受賞はその方の紹介を省略しています。

学生等



理工学研究科材料機能工学専攻(電気電子・情報・材料工学専攻)
天野浩・岩谷素顕研究室
飯田 大輔さん(博士後期課程2年)・
浅井 俊晶さん(修士課程2年)・
松原 哲也さん(同)
【日本結晶成長学会ナノエビ分科会主催、第1回窒化物半導体結晶成長講演会「窒化物半導体結晶成長の未来を展望する」で発表奨励賞】



理工学部(理工学研究科)
高橋友一研究室チーム
市橋 浩典さん・**内山 雅文さん**・
岡谷 賢さん(以上、修士課程1年)・
橋本 哲也さん(学部4年)
【ロボカップジャパンオープン2009大阪のサッカーMixed Realityリーグ(マイクロロボット)で1位】



薬学部
微生物学研究室
奥村 欣田さん(研究員)
【第17回国際医真菌学会・第53回日本医真菌学会総会で優秀論文賞。奥村さんの他、薬学部二改改章教授、打矢恵一准教授、小森由美子准教授にも受賞】



薬学部
三枝 聡実さん・**光崎 亜弥さん**・
河合 敦子さん・**川瀬 祐太さん**・
楠木 彩夏さん・**小林 理穂さん**・
後藤 紗彩さん(すべて1年)
【日本薬学会東海支部第55回(平成21年度)例会で発表賞】

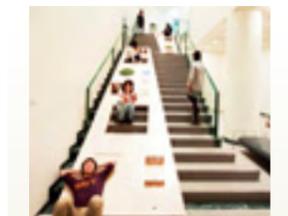
教員等



都市情報学部
海道 清信教授
【第30回国際交通安全学会賞(著作部門)】



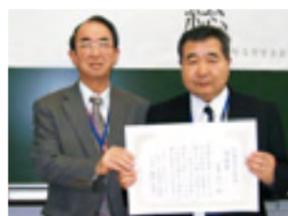
理工学部
小林 明彦教授
【2008年度日本トロボロジー学会功績賞】



理工学部建築学科
谷田真研究室
【広島市現代美術館主催「ゲンビどこでも企画公募」でそごう広島店賞】



薬学研究科
薬物動態制御学研究室
細江 慎吾さん(修士課程2年)
【国際シンポジウム「17th International Symposium on Microencapsulation」でBest Poster Presentation Award】



理工学部
石原 莊一教授
【日本設計工学会功労賞】



総合研究所
高倍 昭洋教授
【2008年度日本植物細胞分子生物学会論文賞】



理工学研究科建設システム工学専攻
渡辺孝一研究室
吉川 瑛人さん(修士課程1年)
【土木学会平成21年度全国大会第64回年次学術講演会で優秀講演者賞】



理工学研究科情報工学専攻
渡邊晃研究室
鈴木 秀和さん(研究員)
【DICOM2009優秀論文賞、ヤングリサーチ賞(同時受賞)】



丸勢 進名誉教授(本学元学長)・
石丸 典生評議員
【科学技術政策担当大臣賞】



理工学部
中野 倫明教授
【2008年度自動車技術会技術部門貢献賞】



理工学研究科機械システム工学専攻
福田康明研究室
平田 将太さん(修士課程1年)
【平成21年度日本人間工学会で優秀研究発表奨励賞】



経営学部
大崎孝則ゼミ
稲垣 和恵さん・**大竹 舞さん**・
半澤 大一さん(以上、3年)・
安藤 南さん・**市丸 裕樹さん**・
高野 翔太さん(以上、2年)
【第4回名古屋マーケティング・インカレ(協賛:日経ビジネス)で優勝】



理工学部
中條 涉教授
【電子情報通信学会通信ソサイエティ優秀論文賞】



理工学部
猿木 勝司教授・**田中 啓介特任教授**・
長谷川 智也さん(元猿木研究室)
【ばね学会技術賞】



附属高校
成瀬 柚妃さん(普通科1年)・
成瀬 萌々さん(総合学科1年)
【国税庁主催「税に関する高校生の作文」で成瀬柚妃さんが名古屋国税局長賞、成瀬萌々さんが名古屋中村税務署長賞】



理工学研究科建設システム工学専攻
小高猛司研究室
中島 康介さん(修士課程2年)
【地盤工学会第44回地盤工学研究発表会で優秀論文発表者賞】
【土木学会平成21年度全国大会第64回年次学術講演会で優秀講演者賞】



薬学部
大津 史子准教授・**永松 正教授**・
灘井 雅行教授・**豊田 行康准教授**・
後藤 伸之教授・**平松 正行准教授**・
吉田 勉教授・**小森 由美子准教授**・
長谷川 洋一教授・**亀井 浩行准教授**・
野田 幸裕教授・**森 健教授**
【私立大学情報教育協会賞(優秀賞)】



薬学部
松葉 和久特任教授
【平成22年度日本薬学会教育賞】



附属高校
宮地 希和さん・
新沼 奈美さん(ともに総合学科1年)
【POPコンテスト2009(名古屋学院大学商学部主催・三省堂書店テルミナ店協力)で宮地さんが最優秀賞、新沼さんが三省堂賞】



理工学研究科情報工学専攻
高橋友一研究室
岡谷 賢さん(修士課程1年)・
佐藤 圭さん(修士課程2年)
柳田康幸研究室
船戸 宏徳さん(修士課程2年)
【日刊工業新聞社主催の第7回キャンパスベンチャーグランプリ中部で努力賞】

輝く卒業生

第30回

かがや

この仕事が好き！
その思いが地域の元気につながっている



1984年 短期大学部商経科卒
株式会社くじラボ **市川 さつき** さん
代表取締役

三重県出身。広告代理店に勤務の後、株式会社くじラボの前身である「有限会社くじら編集室」の立ち上げに携わり、取締役編集長となる。99年に社長、2009年に株式会社となり、社名も変更した。

三重県北勢地域を拠点とした株式会社くじラボは、タウン情報誌「月刊Kujira」や結婚情報誌「ラヴィ」、情報サイト「くじらまぐネット」(http://www.kujimag.com)などを展開する情報サービス企業です。また、広告代理店として各種編集発行物や印刷物のプランニングなども行っています。今年3月、「月刊Kujira」が創刊20周年を迎え、フリーブック(無代誌)として生まれ変わりました。「情報と発想を形に伝えて創造する業務を通じ、個々の人格を高め、地域と社会に貢献する企業を目指す」を企業理念として地域の活性化に貢献してきた、株式会社くじラボ代表取締役の市川さつきさんにお話をうかがいました。

—今の仕事に就くまでの経緯を教えてください。

「中学生の頃、自分の発想やひらめきを形にしていくことの楽しさを感じたのが始まりで、マスコミや広告に惹かれてコピーライターや企画の仕事がしたいと思うようになりました。

家庭の事情で4年制大学への進学は断念しましたが、名城大

—2年しか在学しませんでした。が、愛校心はとてもしっかりあります。在学生のみなさんは大学が発展するために実績をしっかりと残してもらいたいと思いますし、卒業生のみなさんはいろいろな形で在学生や大学をサポートしていただけるとういすね」

「月刊Kujira」を名実ともに三重県下No.1の情報誌にするとともに、強靱な経営体質の会社、社員が誇りをもって仕事ができる会社、周りに自慢できる会社にしていきたいと考える市川さん。代表取締役として自分にしかできない仕事、やるべき仕事を自覚しながらも、「やっぱり現場が好き」と屈託ない笑顔をのぞかせました。



経営者の傍ら、営業で「現場」に赴くことが今でも好きという市川さん

学には商業系の短期大学部があったこと、大学案内の中に「広告論」を見つけたことが進学の決め手でした。

就職活動でもやはりマスコミあるいは広告関係にこだわりましたが、当時は現場担当の女性採用がほとんどなく、内定が得られない状態が続きました。それでも当時の就職課の方がほうぼう探してくださって。インターネットもない時代に大変だったと思います。それで、名古屋の広告代理店に就職することができました。売り手市場でしたが内定をもらえたのは11月でした。

—「月刊Kujira」は三重県北勢地域を中心とした最新グルメやイベント情報などを取り扱うタウン情報誌です。創刊20周年を迎えたのを機に、無料化に踏み切りました。

「実は有料で売っていくことにごだわりがありました。創刊当時は、他地域では無料のミニコミ誌が主流の時代でしたが、有料誌スタイルでスタートを切りました。書店やコンビニを一軒一軒回って関係を築き上げ、お客様にお金を出して買っていただくということを一つ一つ積み重ねて、やっとの思いで今日まで来たからです。

—反響はどうでしたか。

「有料だった時は3万部を発行していましたが、6万部に倍増して無料化をスタートしました。が、あまりの人氣で品薄になったため、5月号は7万5千部、6月号はさらに8万3千部と部数を増やしました。読者アンケートは7倍に増え、意見がしっかりと書かれるなど、その反響の大きさに驚いています。

アンケートの結果から、若い読者層が増えたことがわかりました。読者層の若返りは成功したようです。また、お店からの反応もよくなり、弊社への問い合わせも増えました」

—短大部時代の思い出を教えてください。



「月刊Kujira」や「ラヴィ」の他、各種別冊も発行している

●附属高等学校の教育活性化と卓越性への取組を支援する。

- ・「NIE」新聞学習に取り組み、団体、個人ともに入賞。
- ・総合学科において、地産地消、トワイライトスクールとの交流、再生チョークなど、独自のプログラムを開発。
- ・普通科国際クラスと人間学部との高大一貫教育について、第4期生(18人)が人間学部へ入学。

●附属高等学校のキャリア教育体制の充実を支援する。

- ・キャリア教育の一環として、外部講師を37名招聘し、講演を実施。
- ・総合学科の「産業社会と人間」の授業において、年間を通してキャリア教育プログラムを実施。

●附属高等学校の課外活動の活性化を支援する。

- ・「第54回全国高等学校軟式野球選手権大会」において、軟式野球部が準優勝。



- ・「第64回国民体育大会(トキめき新潟国体)」において、愛知県代表として出場した軟式野球部が3位。

3 「研究の充実」分野

●研究科における国際的に通用する教育研究プログラムを支援する。

- ・「大学院教育プロジェクト」として、新規に5プロジェクト(経営学研究科1件、経済学研究科2件、農学研究科1件、薬学研究科1件)に、6,702千円を支援。

●研究科におけるオンリーワンの教育研究拠点づくりを支援する。

- ・経済産業省の産業技術研究開発施設整備費補助金に、「LED研究センター(仮称)」を申請し、採択。

●グローバルCOEプログラムの育成と獲得に向けた支援を継続する。

- ・平成21年度グローバルCOEプログラムに1件申請。

●外部研究資金の獲得を奨励し必要な支援策を講ずる。

- ・科学研究費補助金:申請件数184件、採択件数72件、採択金額162,250千円。

- ・受託性大型プロジェクト:44件・294百万円、受託研究:41件・47百万円、奨学寄附金:67件・66百万円。

●附属高等学校の特色ある教育プログラムの開発・研究を支援する。

- ・「第4回スーパーサイエンスハイスクール東海地区フェスタ2009」(平成21年7月18日)を開催。
- ・SSHに係わり、課題研究生徒による中間発表会、最終発表会、全校生徒研究発表会を実施。



- ・国際クラス、SSHクラスを対象とした英語多読プログラムを実施。

4 「学生・生徒支援体制の充実」分野

●学生・生徒満足度の向上を目指す総合的支援を奨励する。

- ・新入生及び在学学生に対して、学費に係る緊急経済支援を実施。
- ・学生の教育環境の向上、学生の学習支援システムの構築等を目的として、マイクロソフト(株)と包括協定を締結。



- ・「明るく親しみやすい図書館」の実現に向け、学生の意見反映を目的とする「図書館応援団」を組織化。

●課外活動の強化クラブ等への支援を強化し育成環境の充実策を講ずる。

- ・特別強化スポーツクラブ(女子駅伝部、硬式野球部)及び強化スポーツクラブ(柔道部、ハンドボール部、アメリカンフットボール部、ラグビー部、バレーボール部)への支援の実施。
- ・「第27回全日本大学女子駅伝対校選手権大会」及び「第7回全日本大学女子選抜駅伝競走」において、女子駅伝部が共に第3位。



- ・ハンドボール部が「東海学生ハンドボール春季リーグ戦」において、優勝。

- ・アメリカンフットボール部が東海リーグで優勝し、「第1回全日本大学選手権大会」において、準決勝に進出。
- ・柔道部が東海学生柔道夏季優勝大会において男子・女子ともに優勝。
- ・ラクロス部が東海大学リーグ戦で優勝し、「第1回全日本大学選手権大会」において、4位。
- ・スケート部の佐藤弘章選手が、全日本ショートトラック選手権大会で優勝し、世界選手権代表に選出。



●キャリア自己開発の促進を支援する。

- ・就職情報交換会を開催。(250社参加)
- ・学内企業セミナーを開催。(618社参加)
- ・インターンシップに390名の学生が参加。

●国際交流・連携プログラムの組織化に取り組む。

- ・海外協定校として、新たに3校と締結。(海外協定校数:52大学等)
- ・附属高等学校において、次年度に向けて、チュラロンコン大学、タイFIO等の連携を継続。

●附属高等学校のカウンセリングの充実策を講ずる。

- ・附属高等学校において、スクールカウンセラーを含むチームカウンセリングを実践。

I 基本テーマに対する結果

1 経営と教学が協働するガバナンス体制の構築

- 平成21年度から理事及び評議員の定数を見直した。(理事定数 10人~13人→12人~15人、評議員定数32人~40人→38人~45人)
- コンプライアンスの観点から、監事を1名増員し、3名とした。

3 総合学園化構想を踏まえた附属中学校の設置

- 附属中学校の設置に向けて、コンセプト及び育成する人材像を策定し、平成25年4月の開設を目指して、引き続き議論を進めることとなった。

2 リベラルアーツ系新学部の設置

- 新学部設置構想について、学内での議論を踏まえ、新たに「新学部構想委員会」を設置し、改めて議論を進めることとなった。

4 開学100周年を目指した周年事業プロジェクトの推進

- 開学100周年事業のコンセプトについて議論を進め、引き続き具体的な事業についての議論を進めることとなった。

II 主な事業の結果

1 「人材の確保と育成」分野

- 優れた学生・生徒及び教職員の確保に向けた支援策を講ずる。
 - ・平成22年度大学入試において、29,405名の志願者を確保。
 - ・平成22年度から、都市情報学研究科修士課程及び大学・学校づくり研究科修士課程において、長期履修制度を導入。
 - ・著しい功績等をあげた教授を対象とする終身教授制度を導入。
 - ・附属高等学校における平成22年度入試において、7年連続で愛知県下No.1の志願者7,408名を確保。
- 大学院教育を含むFD(Faculty Development)活動を支援する。

- ・「学生が本気で取り組む「学び」の方法論について考える」をテーマにFD講演会(平成21年11月6日)を開催し、201名が参加。



- ・「授業の工夫を共有する」をテーマに第2回T&L CAFE(Teaching & Learning CAFE)(平成21年12月17日)を開催し、28名が参加。



2 「教育の充実」分野

- JABEEを始めとする国際的に通用する教育プログラムを支援する。
 - ・JABEEへの継続的な取り組み。(理工学部材料機能工学科及び環境創造学科が新規審査、電気電子工学科、機械システム工学科及び交通科学科が継続審査を受審)
 - ・平成21年度JABEE修了者105名、修了予定者205名。
- 学士課程教育の質向上に向けてオンリーワンの教育拠点づくりを支援する。
 - ・「大学教育・学生支援推進事業(テーマB)」に申請し、採択。(「取組名:大規模大学における学士力向上に向けた就職支援の充実」/キャリアセンター)

- ・METS(英語教員研修)を18回実施し、延べ270名参加。
- ・後期に教員と学生による授業満足度アンケートを実施。(実施率92.2%)

●事務職員の人材高度化をめざすSD(Staff Development)を支援する。

- ・大学・学校づくり研究科を事務職員1名が修了。
- ・平成22年度大学院派遣研修として、大学・学校づくり研究科に2名を派遣。
- ・「平成21年度 MS-15に係るスタッフ研修」を実施し、事務職員145名参加。(平成21年10月14日、15日)

●附属高等学校における教員研修の充実を支援する。

- ・平成21年8月3日に「MS-15展開シートづくり」(参加者46名)、8月26日に「未来完了型学校づくり・職場診断」(参加者43名)をテーマとする教員研修(講師:大学・学校づくり研究科 木岡教授)を実施。
- ・平成21年7月1日に「AO入試受験指導について」(参加者53名)、10月15日及び12月2日に「マインドマップ講習会」(参加者17名)、12月22日に「担任力・授業力グレードアップに向けて」(参加者41名)、平成22年3月5日に「体ほぐし体操」(参加者32名)をテーマに教員研修を実施。

●初年次教育を含む全学共通教育の充実を支援する。

- ・犬山サミットにおいて、「教職協働の事例を通じた、教育の質向上策を探る」をテーマに都市情報学部のファンデーションプログラム、全学共通教育英語プログラム及び多読プログラムの話題提供を基に検討。(平成21年10月30日~31日)
- ・平成22年度入学予定者を対象に、基礎学力と学習意欲の向上を狙いとして、学習支援(MEC)プログラムを実施し、785名が受講。

●実践的英語力の底上げと卓越性への取組を支援する。

- ・「多読ルーム」において、蔵書数17,250冊を整備し、利用者数30,668名、貸出冊数64,123冊の実績を上げ、学生の英語運用能力向上に努めた。

●社会的責任を意識した危機管理体制の構築に取り組む。

- ・新型インフルエンザに係わり、「名城大学新型インフルエンザ対策本部」を設置し、迅速に対応。



●ISO14001の推進を継続して取り組む。

- ・ISO14001に基づく取り組みを推進。
- ・第8回ISO14001フォーラム(平成21年12月5日)を開催し、約500名が参加。

●附属高等学校における目標共有を中心としたマネジメント体制を整備する。

- ・運営委員による、各科・クラス体制と将来像についての意見交換の場を設定し、共有化を図った。

●附属高等学校の活性化につながる教員専任率向上に取り組む。

- ・平成22年度の教員専任率の向上に向けて、採用を進めた。(5名新規採用)

9 経営・教学の動き

1) 経営

- ①平成22年度から、法務研究科において、入学定員を50名から40名に減じた。
- ②外部環境等を踏まえて、学校法人名城大学の基本戦略(MS-15)の戦略プランを洗練させた。

- ③「名城戦略マネジメントカレンダー」及び「2008年度MS-15活動報告書」を作成し、1年間のマネジメントサイクルを明確にした。
- ④遠方において就職試験を受けた学生に対し、1万円を限度に旅費を補助。

2) 教学

- ①新司法試験の最終試験に7名が合格。(本学法務研究科出身者)
- ②平成22年度教員採用試験に79名合格。(現役29名、卒業生50名)
- ③理工学研究科飯島澄男教授が平成21年度文化勲章を受章し、理工学部赤崎勇教授が京都賞を受賞。また、理工学部板倉文忠教授が2009年度「C&C賞」を受賞。



- ⑥アジア研究所において、元国連事務次長 明石康氏を講師に招き、講演会「国連平和維持活動の変遷と展望(平成21年12月16日)」を開催。(参加者120名)
- ⑦7つの学内助成事業を対象に公募を実施し、選定した結果、50課題で総額55,320千円を助成。
- ⑧「名城大学Day」(平成21年9月19日)を開催し、4,300名が参加。



- ⑨「名城大学信濃シンポジウム」(平成21年11月21日)を開催し、100名が参加。
- ⑩COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)のパートナーシップ事業として「エコキャンパスプログラム」を実施。
- ⑪高校等への出前講義の実施。(114件)
- ⑫附属高等学校における学校評議員会において、MS-15の戦略ドメインに基づく附属高等学校の現状・推薦入試の合格状況・客観的資料(新聞記事)に基づく生徒の活動状況の報告を実施。

- ④アジア研究所の研究助成プロジェクトとして、企画型プロジェクト10件、公募型プロジェクト6件を採択。(総額11,000千円)
- ⑤総合研究所において、公開講演会「新型インフルエンザについて(平成21年10月10日)」を開催。(参加者250名)

5 「卒業生及び父母(保護者)との連携強化」分野

●卒業生及び父母(保護者)との交流の促進を支援する。

- ・卒業30周年事業ホームカミングデイ(平成21年11月28日)を開催し、140名の卒業生が参加。
- ・卒業生高校教員との交流会(平成21年10月17日)を開催し、80名の卒業生が参加。

- ・各学部において、地区懇談会を68会場で実施。
- ・全国35支部で開催された校友会支部総会に理事長、学長、学部長等が出席した。

6 「産学官連携の推進」分野

●特許を始めとする知的財産創出及び活用の促進に向けた取組を支援する。

- ・特許出願は、国内出願19件、国外出願6件。

●産学官協働のプログラム化の動きを奨励し、戦略的連携策の取組を支援する。

- ・産学連携の共同研究等を推進すること等を目的として、名古屋銀行と産学連携に係る包括協定を締結。
- ・とよたビジネスフェア2009、エレクトロニクスショーなどの展示会に積極的参加。
- ・名古屋商工会議所、大府商工会議所、岡崎商工会議所等と連携し、交流会等に積極的に参加。

7 「地域貢献」分野

●名城サテライトにおけるプログラム強化を支援する。

- ・名駅サテライト(MSAT)において、年間18コマの公開講座を開講。
- ・名駅サテライト(MSAT)を卒業生及び本学関係者を中心に、22,331名が利用。

●安心安全の地域づくりに向けたボランティア活動を支援する。

- ・「ボランティア協議会」の活動(省エネパトロール、地域安全パトロール、災害復興ボランティア、盲導犬ボランティア、あしたの丘ボランティアなど)に積極的に支援。
- ・「ボランティア協議会」が名古屋市と防犯活動に関する「なごや防犯ボランティア団体協定」を締結。
- ・附属図書館都市情報学部分館と可児市立図書館とで、「相互協力に関する協定」を締結。

●地域生涯学習プログラムに対する拠点づくりの支援策を講ずる。

- ・刈谷市教育委員会と教育連携に関する協定書を締結し、刈谷市総合文化センターにおける生涯学習講座を開設。
- ・理工学部市民開放講座を始めとする公開講座に、延べ10,321名が参加。

●附属高等学校の地域社会との交流促進を支援する。

- ・附属高等学校の生徒が地域と連携し、庄内用水一斉清掃を実施。
- ・附属高等学校の生徒が主体となり、学校周辺の清掃活動(栄生、東枇杷島から学校)を実施。

8 「経営改革」分野

●教育組織及び研究組織の改組・新設に取り組む。

- ・平成23年4月開設に向けて、人間学研究科修士課程の設置構想を策定。
- ・研究活動の活性化と可視化を目的とする総合研究所の再編案を策定。

●年度目標額の設定と達成に向けた募金事業に取り組む。

- ・「名城大学教育振興資金」として145件、約48,347千円の寄付を受納。
- ・その他、校友会及びスポーツ・文化後援会から、強化スポーツクラブ等への支援を受けた。

●国や県からの補助金の獲得に向けて組織的に取り組む。

- ・特別補助金として、764百万円を獲得。

●施設設備の充実に向けて、再開発計画マスタープランの実行と評価に取り組む。

- ・塩釜東研究棟(仮称)の建設に着手。
- ・第一グラウンドの人工芝設置工事を実施。
- ・附属高等学校の新体育館の建設に着手。

●組織マネジメントの観点から、事務組織の充実に取り組む。

- ・学務センターと学部事務室の強化に向けた事務組織再編案を策定。

●人材のプロフェッショナル化を促す給与体系の見直しに取り組む。

- ・「賃金の在り方専門委員会」において制度設計した新俸給体系について、引き続き議論を重ねた。

2.貸借対照表

高水準の帰属収支を反映して、自己資金が35億円増加しました。大半は金融資産として蓄積されました。
なお、デリバティブ関連の損失(含み損)はありません。

1 資産の部

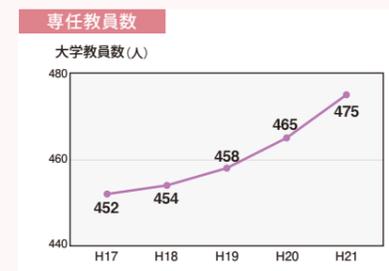
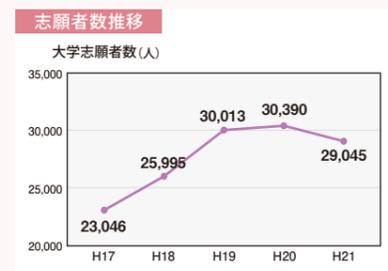
科目	H21年度	H20年度	増減
固定資産	71,995	72,742	△ 747
有形固定資産	52,868	53,414	△ 546
その他の固定資産	19,127	19,328	△ 201
流動資産	20,118	16,391	3,727
合計	92,113	89,133	2,980

金融資産(現預金)の増加

2 負債の部 基本金の部 消費収支差額の部

科目	H21年度	H20年度	増減
負債の部合計	9,305	9,898	△ 593
固定負債	4,255	4,755	△ 500
流動負債	5,050	5,143	△ 93
自己資金	82,808	79,235	3,573
基本金の部合計	88,215	86,722	1,493
消費収支差額の部合計	△ 5,407	△ 7,487	2,080
合計	92,113	89,133	2,980

3.基礎数値



1.消費収支計算書

大学学生数が引き続き16,000人を超え、帰属収入はH21も約250億円の水準となりました。
一方で、消費支出は教員数の増加があったものの、退職金の減少や、情報システム導入が完了したため、前年比14億円の減少となりました。
この結果、帰属収支差額は35億円となり、前年を上回る高い水準となりました。

1 消費収入の部

科目	H21年度	H20年度	増減
学生生徒等納付金	19,382	19,646	△ 264
手数料	1,057	1,083	△ 26
寄附金	271	227	44
補助金	2,682	2,845	△ 163
資産運用収入	417	430	△ 13
事業収入	454	683	△ 229
雑収入	736	1,257	△ 521
帰属収入合計	24,999	26,171	△ 1,172
基本金組入額合計	△ 1,493	△ 974	△ 519
消費収入合計	23,506	25,197	△ 1,691

学生数減少により微減したが、高水準を継続

特別補助が減少するも、過去最高のH20に次ぐ額を獲得

H20の超大型受託研究終了により減少

退職金減に伴い、退職金財団交付金も減少

2 消費支出の部

科目	H21年度	H20年度	増減
人件費	12,129	13,496	△ 1,367
教育研究経費(内減価償却額)	7,838 (2,274)	7,688 (2,247)	150 (27)
管理経費(内減価償却額)	1,260 (161)	1,645 (159)	△ 385 (2)
借入金等利息	14	18	△ 4
資産処分差額	186	40	146
消費支出合計	21,427	22,887	△ 1,460
帰属収支差額	3,572	3,284	288

退職金減により人件費総額は減少したが、教育充実に向けた教員数は増加

経済不況対策の奨学金充実などにより増加

H20で情報システム初期導入が完了したため、H21は減少

国への備品返還発生

SPORTS

女子駅伝部2人が 世界大学クロスカントリースタントリースタントリー選手権大会に出場

4月11日、カナダのオンタリオ州キングストンで第17回世界大学クロスカントリースタントリー選手権大会が行われ、日本代表として2年が出場しました。



(上)小田切選手 (下)野村選手

結果は小田切選手がトップとおよそ1分7秒差の17分36秒1で19位、野村選手が同じく1分17秒差の17分46秒1で24位でした。なお、他大学の学生2人との日本女子チームとしては9か國中総合5位でした。

第1グラウンドに人工芝を設置

昨年度の第2グラウンドに続き、第1グラウンドに人工芝が設置され、4月18日から使用を開始しました。

第1グラウンドは面積が21,188㎡で、主に野球やアメリカンフットボールの他、サッカーやソフトボールなどに使用できる多目的グラウンドとテニスコート9面、練習用ハーフトコート1面を備えており、正課体育の授業や課外活動に活用されています。



SPORTS

硬式野球部が1部に復帰決定

愛知大学野球2部リーグの春季リーグ戦で優勝を決めた硬式野球部は、6月5日、6日に実施された1部・2部入替戦(対中京大学)に勝利し、3季ぶりの1部リーグ復帰を決めました。

第1戦は中京大グラウンドで行われ、芳川浩嗣選手(経済学部3年)のホームランを含む3安打2打点の活躍などで5対3と勝利。第2戦は名城大グラウンドで行われ、主将で2部リーグの最優秀選手賞に選出された森越祐人選手(経済学部4年)のホームランや、連日となる芳川選手の3安



打3打点の活躍と4人の投手リレーで逃げ切り、8対4で勝利、トータル2勝として一気に昇格を決めました。今後は神宮大会出場を目指して、1部リーグでの活躍が期待されます。

愛知銀行と産学連携推進で包括協定

5月17日、愛知銀行と産学連携の推進に関する包括協定を締結しました。本学が保有する学術研究成果(シーズ、特許等)と、愛知銀行の保有する企業情報などのネットワークを相互に生かし、共同研究等を推進し地域産業の振興に寄与することを目的としています。本学が銀行と連携協定を結ぶのは2009年の名古屋銀行に続いて2例目となります。

協定調印式は、本学からは下山宏学長、新居直祐副学長、坂齊学術研究支援センター長、愛知銀行からは幅健三取締役頭取、馬淵秀樹常務取締役、宮地英治取締役、営業統括部長が出席。下山学長は「大学は

厳しい競争の時代を迎えています。愛知銀行との連携を通じて教育、研究の充実が図られることとなります」とあいさつ。幅頭取も「これからの銀行は資金支援の面だけでは企業のニーズに応じられませんが、8学部21学科を擁し、幅広い分野での研究シーズを持つ名城大学との連携に大きな期待を寄せています」と連携の意義を強調しました。



(左)下山学長 (右)幅頭取

平成21年度 就職状況報告

平成21年度新卒採用の背景には、①景気後退②質重視の採用方針③就職氷河期採用の反省の3つの要因がありました。

①「景気後退」は、リーマン・ショックによって決定的となりました。その後は、景況感の急激な悪化にもない、平成21年3月卒内定者の内定取り消し、大手企業の平成22年3月卒採用数の大幅減などが頻りに報道されました。このような社会動向は企業の採用活動や学生の就職活動に大きな影響を与えました。

②「質重視の採用方針」は、年々厳しくなっています。平成18年卒を境に、採用数を「減らす」から「増やす」企業が増えました。それ以降、企業の採用意欲が年々上昇しましたが、過去のバブル期の採用と異なり、採用予定枠を満たすために採用基準を下げない「質重視」の方針を各企業は採っています。採用縮小に転じた平成22年卒採用においては、その傾向がさらに進みました。

③「就職氷河期採用の反省」から、近年の厳しい経済環境下でも、一定の採用人数を確保する傾向がありました。就職氷河期に採用を極端に抑制した結果、多くの企業で、「失われた世代」として該当年齢層の人材不足、先輩・後輩を欠いた前後の世代の成長不足などが発生しています。近い将来の企業運営に大きな支障をきたす恐れがあり、大きな問題となっています。その反省から、新卒採用は景気の変動にかかわらず継続して

行い、一定の採用人数を維持していくべきとの認識が企業に広く浸透しています。

以上のことから、採用枠は非常に狭くなっているものの、過去の就職氷河期採用の反省から採用をゼロにする企業は少ない状況でした。しかし、採用枠を縮小している上に質重視の傾向は非常に強く、採用予定数に満たなくても採用を終了する企業が多く、非常に厳しい就職戦線であったと言えます。本学キャリアセンターでは、就職活動の緊急支援措置として、東海圏以外にまで活動範囲を広げて内定の可能性を高めるため、「遠方において就職試験を受ける際の旅費補助(平成21年10月1日以降、平成22年3月末の間、1人1回片道分で上限1万円)」を行いました。※平成22年度においても、4月から特別措置として同様の補助を行っています。

このような就職環境下において最終的に、本学全体の就職率(卒業生数から大学院進学者数を除いた数に対する就職率)は、81.9%(前年度87.2%)となりました。前年度比較5.3ポイント減となり、非常に厳しい結果であったことがわかります。



学内企業研究セミナー教室形式の様子

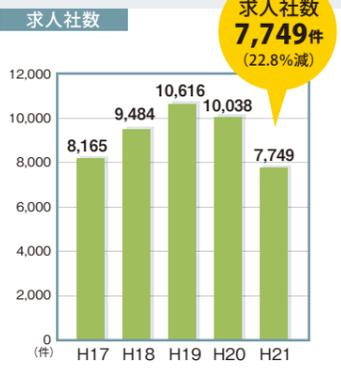
平成22年度就職戦線について、リクルートワークス研究所の調

査によると、平成23年3月卒業の大卒求人倍率は1.28倍(昨年1.62倍)、求人総数は58.2万人(昨年72.5万人)と、大卒求人倍率は0.34ポイント減少、求人総数は14.3万人減少する見込みとなりました。このように、平成22年度も厳しい就職環境に変わりなく就職戦線はスタートを切りました。

名城大学の求人・就職状況

① 求人状況

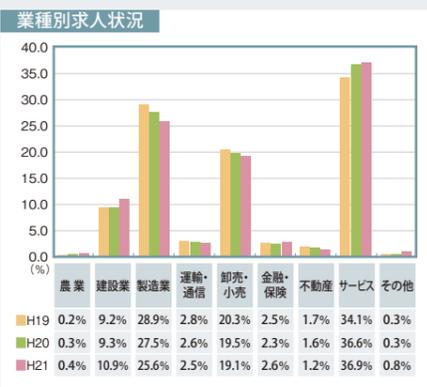
平成21年度の求人総数は、7,749社(平成20年度10,038社)となり、前年度の22.8%減で、2年連続の減少となりました。



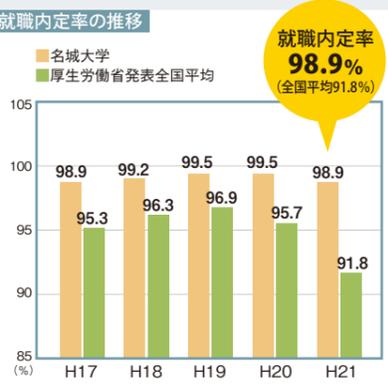
業種別に求人状況を見ると、サービス業36.9%、製造業25.6%、卸売・小売業19.1%、建設業10.9%、金融・保険業2.6%、その他となっており、幅広い業種から求人がありました。昨年との比較で、減少割合が大きいのは製造業と卸売・小売業です。反対に、サービス業の求人割合が大きくなる結果となりました。

② 就職状況

厚生労働省の調査によれば、平成22年3月卒業の大学生の就職内定率(就職希望者に対する就職者数)は91.8%と発表されています。本学の就職内定率は、その平均値を7.1ポイント上回り98.9%でした。また、本学の就職率(卒業生から大学院進学者を除いた者に対する率)は、81.9%でした。



就職内定率の推移





進路支援講演会の様子



企業研究セミナー形式の風景



メイクアップ講座の様子

名城大学就職支援の特徴
1、2年次には、進路支援講座として「講演会」「キャリアガイダンス」「自己発見のた

名城大学の就職支援体制
本学キャリアセンターでは、1年次から内定を勝ち取るまでの4年間にわたり、進路・就職相談ができる体制をとっています。インターネットの普及により情報が氾濫し、学生たちは、何が有用な情報を判断することが難しい状況にあります。また、学生の悩み・就職意識も千差万別であり、個別指導・相談体制はますます重要なものとなっております。

名城大学の就職支援体制



就職相談の様子

また、就職が内定した4年生および卒業生の力を活用した就職アドバイザー制度(就職相談制度)があります。就職活動

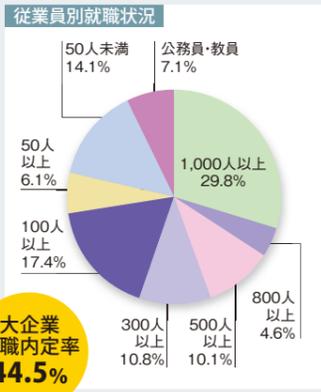
また、就職が内定した4年生および卒業生の力を活用した就職アドバイザー制度(就職相談制度)があります。就職活動

「就職ガイダンス」からスタートし、「グループ面談」「個人面談」の面談支援を軸にし、「模擬就職試験」「履歴書、エントリーシートの書き方講座」「マナー講座」「プレゼンテーション能力養成講座」「メイクアップ講座」「模擬面接」「学内企業研究セミナー」「アドバイザー懇談会」など多彩な行事を開催しています。特に、「学内企業研究セミナー」は約600社が参加する東海地区最大規模のもので、学生参加も延べ1万2千人を超え、就職支援の大きな柱となっております。

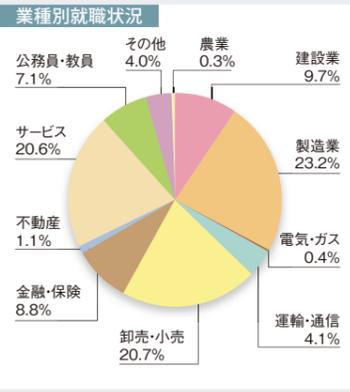
中の学生や就職をこれから始めようとする学生にとって心強い制度となっております。また、キャリアセンターでは、企業の人事採用経験のある3人の相談員による模擬面接や履歴書添削を中心に学生相談を常

時受け付けています。以上のように、本学では面談指導と各種行事を含め多彩な学生支援プログラムを実施し、就職活動のさらなる充実に向け支援を続けています。

理想の進路・就職の実現



また、規模別に見ると従業員500人以上の大企業へ44.5%の学生が就職しており、半数弱の学生が大企業へ就職を決めたこととなります。その中で、1000名以上の巨大企業への就職者数は、29.8%となり、前年度40.7%から大幅に減少しました。大手企業の採用枠の縮小が本学にも大きく影響した結果となりました。



業種別に就職状況を見ると、第1位は、製造業が23.2%で、以下卸売・小売業20.7%、サービス業20.6%、金融・保険業8.8%となっております。就職先の業種割合は前年度とあまり変化がない結果となりました。

平成21年度 主な就職先

法学部	経営学部	経済学部	人間学部	都市情報学部	理工学部	農学部	薬学部
アイシン・エイダブリュ	愛知銀行	いちい信用金庫	あいち三河農業協同組合	あいち海部農業協同組合	アイシン・エイダブリュ	アース環境サービス	味の素ファルマ
愛知銀行	愛知トヨタ自動車	NTN	いちい信用金庫	学校法人愛知医科大学	アイシン精機	あいち三河農業協同組合	アストラゼネカ
SMBCフレント証券	一条工務店	大垣信用金庫	大垣信用金庫	大垣共立銀行	愛知製鋼	赤塚グループ	安城更生病院
大垣共立銀行	大垣共立銀行	興和	大垣信用金庫	大垣共立銀行	アスモ	イチビキ	エーザイ
岡崎信用金庫	大垣信用金庫	十六銀行	岡三証券	大垣信用金庫	NTTコムウェア	伊藤ハム	大塚製薬
京セラ	岡三証券	スズケン	カーマ	カノクス	エヌ・ティ・ティ・コム	春日井製菓	春日井市民病院
サンヨーハウジング名古屋	花王カスタマーマーケティング	瀬戸信用金庫	河合楽器製作所	ガステックサービス	大林組	カネコ種苗	刈谷豊田総合病院
スズケン	ぎふ農業協同組合	タカラスタンダード	蒲郡信用金庫	木沢記念病院	鹿島建設	キッセイ薬品工業	協和ケミカル
住友電装	ココ・コーラ	大和ハウス工業	岐阜信用金庫	岐阜銀行	近畿日本鉄道	キュービー	公立陶生病院組合陶生病院
中京銀行	セントラル ジャパン	東海東京証券	三陽商会	岐阜県厚生農業協同組合	KDDI	興和	社会福祉法人聖隷三方原病院
中部電力	十六銀行	東海旅客鉄道	JTB東海	スガキシステムズ	シャープ	敷島製パン	スギ薬局
東海旅客鉄道	スズキ	豊川信用金庫	スガキシステムズ	第一生命保険	ジェイテクト	東海分析化学研究所	スギヤマ薬品
中北薬品	瀬戸信用金庫	豊田合成	JFEシステムズ	第三銀行	清水建設	中北薬品	スズケン
名古屋銀行	タカラスタンダード	中北薬品	中電シーティーアイ	知多信用金庫	新日本製鐵	名古屋製酪	第一三共
名古屋高速道路公社	中京銀行	名古屋鉄道	トヨタコミュニケーションシステム	東海東京証券	スタンレー電気	財団法人日本食品分析センター	たんぽぽ薬局
名古屋鉄道	中部電力	西日本旅客鉄道	トヨタ自動車	東濃信用金庫	住友電装	名古屋医療センター	独立行政法人名古屋医療センター
日本生命保険相互会社	東海東京証券	日本生命保険相互会社	名古屋鉄道	豊川信用金庫	積水ハウス	日本食研	豊川市民病院
百五銀行	東京商工リサーチ	日本通運	パロー	名古屋流行発信	大成建設	ホルディングス	トヨタ記念病院
みずほ証券	豊島	野村証券	富士通中部システムズ	丹羽幸	大同特殊鋼	マシナ	名古屋記念病院
明治製菓	なごや農業協同組合	福井銀行	三菱電機メカトロニクスソフトウェア	尾西信用金庫	大和ハウス工業	ヤマザキマザック	名古屋大学医学部附属病院
ヤマザキマザック	日本生命保険相互会社	名鉄百貨店	めぐみの農業協同組合	学校法人藤田学園	社団法人中部建設協会	リンナイ	日本調剤
愛知県警察本部	百五銀行	郵便事業	山田商会	碧海信用金庫	帝国建設コンサルタント	愛知県教育委員会	ナバルティスファーマ
愛知県庁	ブリヂストン	ユーフィット	郵便局	毎日コミュニケーションズ	東海理化電機製作所	愛知県庁	ハルニテ
刈谷市役所	ユーフィット	リンナイ	郵便事業	三井住友銀行	東海旅客鉄道	岐阜県教育委員会	藤田保健衛生大学病院
岐阜県警察本部	リンナイ	愛西市役所	リンナイ	リコー中部	東芝産業機器製造	静岡県教育委員会	明治製菓
警視庁	ワールドストアパートナーズ	愛知県警察本部	愛知県警察本部	リコーテクノシステムズ	トナーエネック	東京都市	山田赤十字病院
東京消防庁	愛知県警察本部	江南市役所	愛知県教育委員会	リコー中部	トヨタ車体	名古屋交通局	四日市社会保険病院
名古屋市交通局	岐阜県警察本部	国家公務員II種	名古屋国税局	リコー中部	トヨタ自動車	名古屋市役所	愛知県
名古屋市消防局	三重県警察本部	三重県庁	名古屋消防局	愛知県警察本部	トヨタテクニカルディベロップメント	三重県教育委員会	名古屋市
三重県警察本部	三重県警察本部			三重県庁	トヨタ紡織	三重県庁	6年制移行期により2008年度分を掲載

*大学院を含む



かんばやしあきら
会長 上林 晃

●基本方針●

全国で戦えるスポーツ系クラブに特化して支援する。
名城大学の特別強化クラブ、強化クラブを中心に支援します。

活躍する文化系クラブへ支援する。
スポーツ系クラブのみならず、活躍している文化系クラブへ支援します。

就職活動を側面から支援する。
名城大学キャリアセンターを通じて、在学生、卒業生の就職活動を支援します。

●全国で戦えるスポーツ系クラブの支援●

- 女子駅伝部：全国大会3年連続堂々の3位
- アメリカンフットボール部：全国ベスト4進出
- 柔道部：全日本学生柔道優勝大会出場
- バレーボール部：全国大会進出
- ハンドボール部：全国大会2年連続出場



女子駅伝部

●ボランティア活動の支援●

- クリーンアップ大作戦
- 「あしたの丘」福祉ボランティア
- 台湾台風災害復興募金
- 地域安全パトロール
- 盲導犬ボランティア
- エコキャップ回収大作戦



「クリーンアップ大作戦」PRプロアマット寄贈

●企業の方へ賛助のお願い●

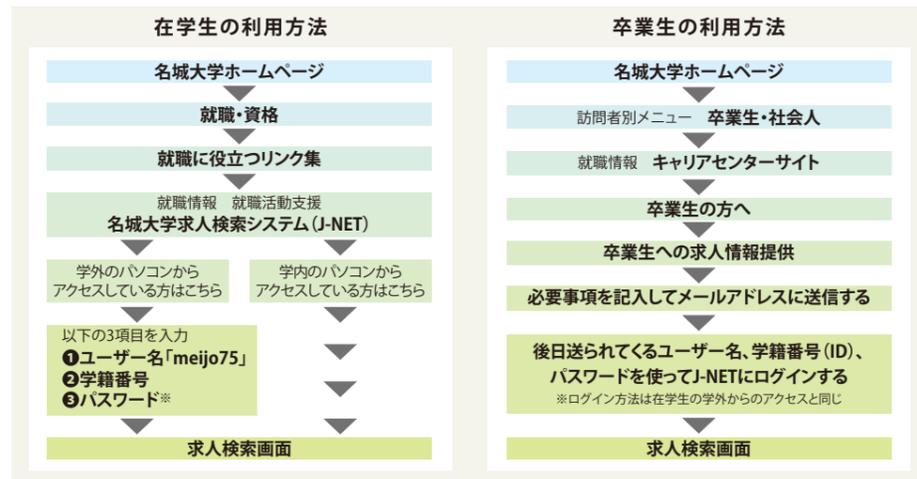
本後援会は、名城育ちの達人を社会に送り出すべく、名城大学学生のスポーツ・文化クラブの支援とともに在学生、卒業生に対する就職活動を支援する目的で活動しております。その活動のひとつとして、趣旨にご賛同いただいた企業様に名城大学キャリアセンター主催の学内企業研究セミナーをご紹介いたしております。

●学内企業研究セミナー参加概要●

- セミナーは、名城大学キャリアセンターが主催いたします。
- セミナーの開催月は、2月です。
- セミナーへのご参加をご希望される場合は、キャリアセンターへ推薦いたします。
- セミナーへのご参加は賛助企業紹介誌への広告掲載が必要です。
- 開催日によっては、参加学生が少ない場合がございますことをご了承ください。

賛助企業ナビ

名城大学
スポーツ・文化後援会は、
名城大学の在学生、
卒業生の皆さんの
就職を支援いたします。



*生年月日を8桁の数字に直したもの(例:19880501)

名城大学スポーツ・文化後援会事務局

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学学務センター内

TEL (052) 832-1151 (代表) 内線2663、2605 / (052) 838-2098 (ダイヤルイン)

FAX (052) 832-9939 E-mail spobun@ccmails.meijo-u.ac.jp

お問い合わせ

秋のオープンキャンパス開催 高校生の皆さん、友人やご家族とお越しください!

■10月23日(土) 10:00~15:00
○可児キャンパス(都市情報学部)

■9月18日(土) 10:00~16:00
名城大学Day ○天白キャンパス
進学相談コーナーへどうぞ!

内容等詳細は、名城大学HPをご覧ください。



平成23年度 推薦入学出願開始 迫る!



平成23年度 名城大学公募制推薦入学試験のご案内
公募制推薦入試(どなたでも応募できます。ただし薬学部は出願条件があります。)

募集学部	出願期間	試験日	試験地
全学部	10月25日(月)~11月5日(金)	11月21日(日)	天白・八事・可児

専門高校等推薦入試(商業科、総合学科等で商業、情報処理、国際関係科目を履修した人が対象。経営学部、経済学部は出願条件があります。)

募集学部	出願期間	試験日	試験地
経営学部 経済学部 都市情報学部	10月25日(月)~11月5日(金)	11月21日(日)	天白・可児

◆指定校推薦入試については、各高校の担任または進路指導の先生にお問い合わせください。 ◆その他の試験方式を含め詳細については、名城大学HP、入学ガイド等をご覧ください。

お問い合わせ先 名城大学入学センター 052-838-2017(直)

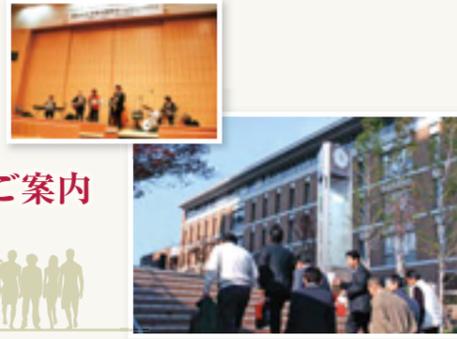
高校生、高校生保護者による キャンパス見学会 盛況!

「百聞は一見に如かず」…入学センターでは、「生徒の大学への関心を高め、勉学意欲を高めたい」との高校側の要望に応えるとともに、高校生保護者のPTA研修の一環として、大学キャンパスの見学会を受け入れております。年々これらの要望も多くなり、昨年1年間では80件の大学見学会(キャンパスツアー)を実施しました。

今後も要望があれば、積極的に対応していくことにしています。



名城大学 「卒業30周年 ホームカミングデー」のご案内



本学では、平成20年度から「卒業30周年ホームカミングデー」を実施しております。

人生の中でも大きな節目である卒業後30年目の皆様にご来校いただき、「懐かしい友との出会い、新しい友との出会い」を通じて母校を振り返る機会としていただきたく実施しているものです。

学生時代を謳歌した同窓が一堂に会し、「新たな再会」を通して強固なネットワークを構築する場となり、さらには名城大学の今日までの発展と開学100周年に向けた今後の展望を感じていただければ幸いです。

今年度は**昭和55年度(昭和56年3月卒業・修了)卒業生の皆さんが対象です**。追って詳細なご案内をお送りいたしますが、是非ともお知り合いの同窓生をお誘い合わせの上、一人でも多くの方にお越しいただけますことを、心より願っております。

- 開催日時** 2010年11月27日(土)
12:00~19:00
- 場所** 天白キャンパス 共通講義棟北
「名城ホール」「名城食堂」
- 事業** 懐かしの学食体験、キャンパス見学会、
ウエルカムコンサート(予定)、お楽しみ抽選会、
懇親交流会
- お問い合わせ先** 大学・附属高等学校振興推進準備室
052-838-2066(ダイヤルイン)

名城大学管弦楽団 第26回定期演奏会

PROGRAM
メンデルスゾーン／交響曲第5番 ニ短調 作品107「宗教改革」
リスト／交響詩「レ・プレリュード」
メンデルスゾーン／真夏の夜の夢より「結婚行進曲」作品21
指揮 吉田 年一



- 開催日時** 2010年10月25日(月)
開場17:45／開演18:30
- 場所** 愛知県芸術劇場コンサートホール
- 料金** 全席自由600円(前売券500円)
チケットぴあまたは愛知県芸術文化センター内プレイガイドで
購入可能です。
- お問い合わせ先** meijo-orch@mail.goo.ne.jp

名城大学教育振興資金 ご協力のお願い

本学では、教育研究活動の充実、奨学金制度の充実、施設の整備充実、国際交流の推進などの教育研究環境の整備に対して、ご支援、ご協力をいただきたく募金事業「名城大学教育振興資金」を継続して展開しております。経済情勢の厳しい折、任意とはいえ、なほはだ心苦しく存じますが、何とぞ趣旨をご理解のうえ、ご賛同を賜りたく心からお願い申し上げます。

名城大学教育振興資金募金事業に係る寄付のお申し込みおよびお問い合わせ先

経営本部 総務部(募金) (052) 832-1151(代)

平成22年度 後期公開講座

起業講座シリーズ(全12回)

経営・経済学部

9/29(水)~12/22(水) 祝日を除く毎週水曜日 18:10~19:40 天白キャンパス 共通講義棟北名城ホール 起業講座 「21世紀の夢を追いかける」

●お問い合わせ/経営学部事務局 TEL:052-838-2051

講座名

- 企業の存在意義と社会的共感 一人にも動物にも環境にも優しい地球企業でありたい
- 世界に発信できる語学、国際人教育をめざして
- 日本から世界に向けて 一低侵襲治療の普及をグローバル規模で
- 好きこそ物の上手なれ 自己実現の起業法
- 自分+夢=Happyな未来
- 起業から現在への変化 自分が、どの様に変化し、変化させていくべきか
- 社会の変化を把握し現代社会に適応したビジネススキルとは…
- 大豆の無限の可能性に懸ける
- 「死の谷を越えて」バイオベンチャーの生き残り事業モデル
- 未来を拓く後輩達へ
- 愛と会計学…その心は?
- ホタル・メダカ・トンボが戻る「自然微生物農法」

名城カレッジシリーズ

※聴講対象者のマーク 一般市民・卒業生・在学生保護者 大学生・大学院生 高校生 中学生 小学生

天白キャンパス

10/23(土) 11:00~12:00	共通講義棟北 N201講義室	農学部	教育環境が育む学際性と人間性 ~スイス連邦工科大学と名城大学~ ●お問い合わせ/農学部事務局 TEL:052-838-2054	荒川 征夫 名城大学 農学部准教授	定員:250名 大 高
11/6(土) 13:00~14:30	共通講義棟北 N102講義室	法学部	会社法改正の課題 ●お問い合わせ/法学部事務局 TEL:052-838-2050	長谷川乃理 名城大学 法学部助教	定員:150名 大 高 中
11/13(土) 14:00~15:30	共通講義棟南 101講義室	人間学部	動物とヒトのかかわり 申込必要 ●お問い合わせ・お申し込み/人間学部事務局 TEL:052-838-2055 FAX:052-833-5524 Eメール:hnooffice@ccmails.meijo-u.ac.jp	古田 正美 鳥羽水族館 館長 水尾 衣里 名城大学 人間学部教授	定員:300名 大 高 中 小
11/18(木) 13:10~14:40	共通講義棟南 202講義室	経済学部	アーミッシュのライフスタイルから現代社会を考える ~環境・情報・ライフスタイルの視点から~ ●お問い合わせ/経済学部事務局 TEL:052-838-2052	大藪 千穂 岐阜大学 教育学部教授	定員:150名 大 高
12/11(土) 13:00~16:00	共通講義棟北 N324講義室	農学部	身近なバイオサイエンス 身近な鳥類を知ることから、生物多様性を考える 講演1/カワウの漁業被害とその対策 講演2/カワウの繁殖生態とその潜水特性 ●お問い合わせ/農学部事務局 TEL:052-838-2054	山本 麻希 長岡技術科学大学 生物系助教 新妻 靖章 名城大学 農学部准教授	定員:150名 大 高

八事キャンパス

10/16(土) 13:30~14:45	6号館4階 情報メディア教室	薬学部	くすりと健康「がんは薬でどこまで治るか」	江崎 幸治 名城大学 薬学部教授	定員:200名 大
10/16(土) 15:00~16:15	7号館3階 生物系共同実習室	薬学部	くすりと健康「薬用植物・生薬を知ろう!」 ~あなたも漢方外用製剤「紫雲膏」を作ってみませんか?~	能勢 充彦 名城大学 薬学部教授	定員:200名 大

●お問い合わせ/薬学部事務局 TEL:052-839-2607

農学部附属農場(春日井)

11/13(土) 13:00~15:00	附属農場 本館2階 第3教室	農学部	今こそ、畜産を学ぶ 講演1/地場資源に基づいた乳肉生産 ~アジア地域の事例を中心に~ 講演2/意外と身近! 日本の畜産 ~家畜の役割と食の安全~	熊谷 元 京都大学大学院 農学研究科准教授 林 義明 名城大学農学部 附属農場助教	定員:80名 大
----------------------	----------------	-----	--	--	-------------

●お問い合わせ/農学部附属農場 TEL:0568-81-2169 FAX:0568-81-1589

名駅サテライト(MSAT)シリーズ

法科大学院公開講座

専門家対象 申込必要 有料

11/10(水)~2/9(水) 原則第2.4水曜日	15:00~17:00	法務研究科	今日から役立つ契約実務 国内の契約書作成・チェックに必要な基礎知識(国内契約)	宮島 元子 名城大学法務研究科教授	定員:25名
11/16(火)~2/15(火) 原則第1.3火曜日	15:00~17:00	法務研究科	企業経営と実践的知的財産 紛争、訴訟を含めた実践的知的財産マネジメントと実務対応	青山 高美 名城大学法務研究科教授	定員:25名

●お問い合わせ・お申し込み/法務研究科事務局 TEL:052-838-2022 FAX:052-833-5240 E-mail:ogakumd@ccmails.meijo-u.ac.jp



児童文化研究会 「かざぐるま」

子ども大好き!遊びにまじめ

児童文化研究会「かざぐるま」は6月現在、29人(男性15人、女性14人)が在籍しており、主な活動として、新入生歓迎行事の他、いくつかの子ども会に出かけたり、名城大学Dayでは一緒に工作を楽しんだり、大学祭で人形劇を行ったりしています。子どもと遊ぶということで、「子ども好き」なのはもちろんですが、それだけではな



く、頭と体で「喜んでもらう」ために腐心しています。

大事になるのはそれらの準備。外で遊ぶことが少なくなった現代の子どもたちにとって何を楽しく感じるのかを真剣に考えた上で、遊びのためにさまざまなモノを作ったり、子どもとする遊びの練習、開発、研究もしています。まじめに「子ども」「遊び」を考えているわけです。

会長の奥田大貴さん(法学部2年)は、「まじめでキッチリしていますが、みんな心から明るい部員ばかりです。子ども会当日は子どもたちと学生で思いっきり遊びます!」と話してくれました。

子どもに喜んでもらえることが自分たちの喜び。特に自分の名前を覚えてもらえるとうそぐうれしいそうです。夏には学校を借り切って大規模な子ども会を催すため、部員たちは張り切っています。



想 い

6月、大リーグで「世紀の大誤審」がありました。完全試合がかかった9回2アウトランナーなし。最後の1人を打ち取って、誰もが完全試合達成!と思いきや、1塁塁審の判定はなんとセーフで、大記録は目前で幻に。達成されれば大リーグ史上21人目の快挙だっただけに、投手は唇をかみしめました。が、それ以上に傷心だったのが当の審判。後に「あれは誤審だった」と認め、投手に涙ながら謝罪。その後、投手は「完全な人間はいない」と審判をかばい、慰めました。

この話、周りから見れば美談でも、両者にとっては結

局、不幸な話に過ぎないのかもしれませんが。ただ、投手に目を向ければ、完全試合を達成し損ねたことで人を責めるか、スポーツマンシップをたたえられて人々の記憶に残るか。そこには非常に大きな差があります(もちろん、審判の謝罪がなければ話は変わっていたかもしれませんが)。

実績を上げることはもちろん大事なことです。そして、それは時に様々な苦難を伴います。しかし、今回の事件は「生き様」も大事なことで、それを貫くことの難しさを教えてくれました。